

報 おなだ

一人ひとりの幸せを
大事にしよう

岡田の歴史を学ぶ

岡田歴史講座 開催される

古墳時代

「最初頭の前方後方墳が松
本平にある」その古墳は桜で有名な弘法
山古墳で、3世紀末(200
年代末)の築造と考えられて
います。全国的にも古い古墳
の一つです。「この時期の代表的な前方
後方墳は松本にない」古墳時代前期(300年代)、
岡田地区では岡田町遺跡など
で生活の痕跡が確認されてい
ますが、古墳はありません。
「塩倉の塚山古墳は岡田を
代表する古墳」古墳時代中期(400年代)、
現在岡田の里が建っている
ところで、3基もの古墳があっ
たことがわかりました。その
うちの一つはちよつとした塚
だと思っていたら、直径30m
の規模の円墳だったことがわ
かりました。古墳に埋葬され
た人はだれかわかりません
が、松岡、下岡田に集落遺跡

岡田歴史研究会と岡田公民館の共催で、第1回は松本市教育委員会文化財課の直井雅尚氏より「遺跡調査から見た古墳時代から平安時代にかけての松本、岡田周辺の歴史」、第2回は安曇野市豊科郷土博物館長の原明芳氏より、「考古学から見た奈良・平安時代の信濃国筑摩郡を語る」の講演がありました。



原明芳氏



直井雅尚氏

があり、古墳と古墳を作った人たちがリンクしていると思われま



直径30mの古墳など3基を発見(右:塩倉池)

「6世紀(500年代)は
空白の時期」朝鮮半島から渡来人がやつ
てきて、生活様式ががらりと
変わる時期なのですが、遺跡
が見つかっていません。それは
なぜなのかわかっていません。
「7世紀後半(600年代
後半)のでっかい建物跡が見
つかった」本郷高田遺跡(現のばら保
育園)の大型の建物跡は天武
天皇が東間(つかま)の湯に
行幸するに当たって行宮(あ
んぐう)を作る命令がおりた
時代に当たります。

奈良・平安時代

「松本平の歴史の鍵を握る
8世紀から9世紀(700
800年代)」奈良時代の700年代、奈
良井川の西側にも大きな集落
がひろがっています。岡田
地域にも岡田町、下出口(現
JA虹のホール)、岡田神社
近くの宮ノ前など遺跡が増え
てきて、この時期が集落数の
ピークとなります。田溝池や
芥子坊主の窯業が盛んに行わ
れていた時代で、岡田地区は
一大工業地帯ともいえます。
岡田神社の東、宮ノ前遺跡は
普通の集落ではなく、52畳の
大きな住居や、ひさし付きの
大型掘立柱建物(復元想像図
参照)がみつかりました。山
で焼かれた須恵器の集配セン
ター的な役割で、須恵器を管
理した役所かもしれません。須恵器を管理した役所が推測される建物の
復元想像図(小池遺跡から引用)

宮ノ前遺跡から見つかった硯

また西裏遺跡(現岡田公民館・
保育園)は素焼きの土器を焼
いた800年代の中頃から後
半の集落だったことがわかり
ました。粘土を保管し、土師
器(はじき)を焼いたいくつ
もの穴が堅穴住居の近くで見
つかったのです。「窯業が終焉を迎える時期
に岡田の集落もさみしくなる
10・11世紀(900年代)」
特に岡田は顕著です。どこ
に行ってしまったのだろうと
思うくらいです。その背景は
住みにくくなるような社会の
変化なのでしょう。「岡田の繁栄の変遷などわ
かりやすく説明いただき、大
変よかったです」文獻資料に
でてくる「瀬棚」の荷捌所と
想定される場所が宮ノ前遺跡
の成果によって明らかになっ
たともいえるのではないかと
思いました」などの感想が寄
せられました。



神沢公民館前庭



松本市の事業のひとつに「緑化推進事業」というものがあります。神沢町会では町会からの依頼で私達ボランティア部会が担当しています。手続きをすれば花の苗と肥料等を配布していただけて、春季と秋季の二度、日付を決めて部員が集まって公民館の庭に植え付けをします。

岡田ぼっとニュース

花咲く町会

● 神 沢 ●

は落ち着いた色のペチュニアを配置。花に詳しい方を中心にデザインを考える仕事は楽しくて、汗をかきつつも会話が笑顔がこぼれます。

花づくりの中で何が一番大変かと言うと、日々の水やりや草むしりだということでしょう。部の中で当番を割り当てるとかなりの負担になってしまいます。実は私たちは植えっぱなしで解散です。それでは花は育たないような気がします。そこはさすがボランティア部会。誰かががゴミ出しに行くついでに水をまき、ポストへ投函に行つては周りの草をむしり、花が盛りを越えるといつの間にか株の切り戻しが出来ています。やらなきゃいけないという役目になると荷が重くなりますが、自分の出来る時に出来ることをやるというスタイルはとても気が楽です。たまには水枯れする時もありますが、今年は雨の恵みも多かったせいか、綺麗に咲き誇る期間が長かったように思います。

11月には秋季の苗が届く予定です。春先の花壇にどんな花が咲くのか、ぜひご覧になって下さいね。

(神沢 小林 久見子)

岡田マルシェを訪れて (次回は12月21日)



10月26日(土)に岡田公民館にて岡田マルシェが開催されました。昨年に引き続いての2回目となります。食べ物や雑貨などの出店・展示のほか、来訪者が体験できるワークショップもありました。ヘアゴムづくりや、ハーブとドライフラワーの香りサシェ&ポットづくりなど、子どもも大人も楽しんでいました。また、出店では、自作の小説、イラスト、手芸などがあり、お客さんとお店の方とが共通の興味について歓談する様子もありました。

そんな岡田マルシェを企画したのは、実は信州大学に通う学生です。まちづくりに興味がある望月涼華さん(経法学部4年)は、「地域に住んでいる人がお互いを知ったり、地元に愛着を持ったりするきっかけになったら」と企画の想いを語ってくれました。公民館の田中主事も「今日のような催しを通じて、岡田を好きになってくれる人が増えてうれしい」と話してくれました。

次回の岡田マルシェの開催は12月21日(土)です。お客さんとして訪れるもよし、出店を準備してもよし、岡田で人と人とのつながる催しの輪に、入ってみてはいかがでしょうか。



私の家は、裏に伊深城山を背負い、松本平を見下ろせば市街地東半分の夜景が素晴らしい場所にあり、また田園の風景も素晴らしく落ち着いて生活できる場所です。

近年の異常気象により夏場の真夏日・猛暑日が続く中、皆さん大変な夏を過ごした事と思います。

我が家では、この猛暑の中でも文明の利器でありますエアコンを使用しています。使用しないのではなく、我が家にはエアコンがありません。

生活雑記

我が家の環境

伊深 横山 敏雪

南側・北側の窓を開けておけば風通しがよく涼しく、扇風機と「うちわ」があれば自然に生活ができる素晴らしい環境下にあります。

ただ残念なのが、ここ何

と山全体が松枯れにより真つ白い景観になり何か異常に感じ、こんな景色になる前に何とか手を打てなかつたものか残念でなりません。

伊深城址へ行く遊歩道がこの山中に有りますが、倒木により危険で歩く事ができません。歴史ある伊深城址を何とか守って行きたいものです。

最後にコロナ禍で停滞した岡田地区全体の活動を各町会が協力し合い、新しいスタイルでもよいので活発な岡田にして行きたいものです。